



レクリエーションを活かした支援事業を と一緒に展開しませんか？

私たちレクリエーション協会は、被災地の方々が元気になるよう、
レクリエーションを活用した支援プログラムを実施しています。
高齢者の健康づくり、介護予防、子どもの体力づくり、地域コミュニティづくり、ストレス緩和ケアなど、
レクリエーションを通して被災地の課題に取り組みます。
スタッフのスキルアップ講座、仮設住宅でのレクリエーション教室の開催など、
目的や対象に合わせてプログラムをご提供致します。
お気軽にご連絡下さい。

例えば、こんなセミナーを企画いたします。

●コミュニティづくり●

住みよい地域づくりに レクリエーションを活用

レクリエーションを活用し、仮設住宅などで暮らす皆さんの交流を深め、安心して生活できるコミュニティづくりのお手伝いを行います。

●セミナー●

仮設住宅での高齢者向け スタッフセミナー

簡単な体操や交流・コミュニケーションの促進などを想定し、効果を得やすく実践しやすいレクリエーションメニューの体験と、実践する時のコツ、アレンジなどを学びます。

●イベント●

レクリエーションツールを 活用した子どもの集い

子ども向け、親子向けで楽しめる、遊びやニュースポーツなどの体験イベント、親子のふれあい、遊び・スポーツを通じた体力づくり、宿泊型の体験キャンプなどを開催します。



NPO法人岩手県レクリエーション協会・
NPO法人宮城県レクリエーション協会・NPO法人福島県レクリエーション協会と
公益財団法人日本レクリエーション協会・全国のレクリエーション協会は
これからも、[笑顔 Again]プロジェクトを推進していきます。

活動状況は随時更新しています。
詳しくはHP: <http://team.recreation.jp>をチェック

公益財団法人 日本レクリエーション協会

TEL:03-3265-1241 FAX:03-3265-1245
〒101-0061 東京都千代田区三崎町2-20-7
水道橋西口会館6階
<http://recreation.or.jp>
e-mail:rec@recreation.or.jp

東日本大震災復興支援事業 [笑顔 Again] プロジェクト レクリエーションでつながる 笑顔の輪

Smile
for all



私たち、NPO法人岩手県レクリエーション協会・NPO法人宮城県レクリエーション協会・
NPO法人福島県レクリエーション協会と
公益財団法人日本レクリエーション協会・全国のレクリエーション協会は、
東日本大震災の被災地で[笑顔 Again]プロジェクトに取り組んでいます。

たくさんの人たちが笑顔や元気を取り戻せるよう、
レクリエーション活動を展開しています。



独立行政法人日本スポーツ振興センターのスポーツ振興くじ(toto)助成により実施しています。



東日本大震災復興支援事業 [笑顔 Again] プロジェクト レクリエーションで笑顔を広げる

体を動かし、声を出して笑い、仲間と一緒に楽しむ、
レクリエーションの良さを活かした活動が被災地で展開されています。

NPO法人岩手県レクリエーション協会 沿岸部を中心に仮設住宅の集会所で リフレッシュ教室を開催!

「お茶っ飲みながら楽しむっぺ」、被災地沿岸部（10市町）の仮設住宅の集会所を利用し、心と体のリフレッシュ教室を定期的に開催しています。最初は緊張気味ですが、徐々にほぐれて、最後は大声で笑って、歌って、楽しんで、ストレス解消に一役を担っています。スタッフが帰る間際、「楽しくて、楽しくて、感謝感激だよ!」と握手攻めにあうほどに。

遠野市では、沿岸部の子どもたちを招待し、ゲームやニュースポーツ、ピザ作りなど楽しむプログラムを提供しています。

NPO法人宮城県レクリエーション協会 子どもから高齢者まで、みんなが つながるコミュニティづくりをめざして。

仮設住宅の集会所で行われる高齢者のサロン活動に子どもたちも参加しています。様々なレクリエーション活動と一緒に楽しむことで、高齢者と子どもをつなぐ。高齢者が子どもたちの見守り役となるようなコミュニティづくりを目指しています。

また、各市町村レクリエーション協会も積極的に仮設住宅などでの支援活動を展開しています。

NPO法人福島県レクリエーション協会 仮設住宅に定期的に訪問し、 多彩な活動を提供。

仮設住宅への支援活動を定期的に行っている福島県レクリエーション協会。大声で笑ったり、みんなでおしゃべりしたり、一時でも気分転換になるよう、様々なレクリエーションプログラムを実施しています。

また、子どもたちへの支援活動として、相馬市や南相馬市で体を思い切り動かせるスポーツやあそびを取り入れた「あそびの城」を開催しています。

●市社協が開催する「長部サロン」は毎回元気いっぱい、楽しく体を動かしています。(2011/10 岩手県陸前高田市)



●「あそびの城 in そうま」でジャンボトランプを楽しむ子どもたち。(2011/11 福島県相馬市)



●「ここからだのリフレッシュ教室」、スキヤキジャンケンでカードを引いてみると、「アレ〜残念...」(2011/11 岩手県大槌町)



●宮城県女川町の子どもたちが鬼首スキー場で野外活動を楽しみました。(2011/8)

●宮城県仙台市荒井小学校用地仮設住宅（仙台市若林区）の集会所で「サロン友引の会」を開催。(2011/10)



●福島の子供たちが楽しんだ「ネイチャー & レクリエーション楽宿」(2011/8)



●宮城県レク協会スタッフが女川町総合体育館のロビーでレクリエーションを実施。(2011/4 宮城県女川町)

●カラダが動いてきた! 岩手県山田町大沢仮設団地集会所でリフレッシュ体操やゲームを楽しみました。(2012/1)



●いわて子どもあそび隊が田野畑村「親子ふれあい広場」で絵本の読み聞かせて夢中になる子どもたち。(2011/9)



●「ネイチャー & レクリエーション楽宿」でリーダーとすっかり仲良くなった女の子。(2011/8)



●岩手県陸前高田市米崎（よねさき）サロン。最初は緊張気味の参加者も徐々に笑顔になっていきます。(2011/10)

私たちは、被災地の元気づくりをサポートします!

公益財団法人日本レクリエーション協会 全国のレクリエーション協会と共に 被災地を支えています。

「レクリエーションで元気になってほしい」、そんな思いで全国のレクリエーション協会、全国の公認指導者と連携し、被災地への支援活動を行っています。

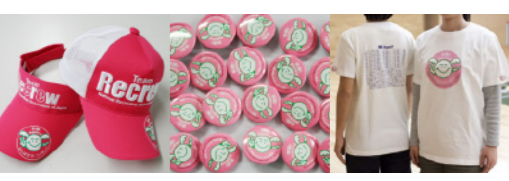
福島県では、外遊びが制限されている子どもたちを対象とした2泊3日のキャンプを実施。約300人の子どもたちが元気に参加。遊びやニュースポーツを楽しみました。

また、3県での支援活動は、1年で約600回を数えました。現在も引き続き支援活動を継続しています。

支える活動
Smile for allリストバンドの販売。
売上金の半額を復興支援金として活用します。



昨年度チャリティーTシャツの販売、キャップ&サンバイザー、缶バッジ、の販売を実施。チャリティーTシャツは約13000枚の購入を頂きました! 支援金と合わせて、被災地のレクリエーションプログラムの運営に活用させていただきます。



●「元気いっぱい外あそび」岩手県陸前高田市横田小学校の子どもたちを遠野市レクリエーション協会が招待。(2011/7)

